

野迫川の特産品



わさび

伯母子岳から豊かに流れる清水で栽培される野迫川村のわさびは、在来種から自家採種して育てた逸品。香り高く、爽やかな風味をお届けします。



素麺

清らかな水と清涼な気候が生んだ自慢の素麺。細麺と太麺があり、煮込んでも伸びにくい。ゆめんやバスタ風、サラダにしてもおいしくいただけます。



あまご

清流の女王アマゴ。野迫川村では養殖にも力を入れ、美味淡白なアマゴをいつでも味わえます。独自開発した製法でつくる甘露煮がおすすめです。



しいたけ

原木栽培にこだわり、寒暖差の大きな気候と生産者の愛情を受けて肉厚に育ちます。ぷりぷりとした食感が好評で、森の香りもたっぷり詰まっています。

凍り豆腐

凍らせた豆腐を乾燥させて作る凍り豆腐。「高野豆腐」はその代名詞です。野迫川村の厳冬は凍り豆腐に最適。一つひとつ丁寧に手作りされています。



野迫川の観光スポット

MAP C-3 白樺園地

立里荒神社からさらに登ると、関西では希少なシラカバ林が広がります。深い緑の山景色に映える白い幹が涼やかな印象を与えます。幽玄な雰囲気にも包まれる霧の時間帯もおすすめです。



MAP D-1 野川弁財天

財宝の神様を祀ります。弘法大師が彫ったとされる大弁財天女像が本尊です。妙音院の境内にあり、「野川の弁天さん」と親しまれています。



MAP C-2 立里荒神社

ここでも弘法大師が登場します。高野山を開山する際に勧請したとされる日本三荒神の一つ。荒神岳山頂からの眺望もよく、雲海と日の出の名所です。



MAP C-1 MAP C-2 雲海景勝地

山岳地の平均標高が約900mに及び「天空の国」は、雲海や星観測の穴場スポットとして人気があります。雲の上に浮かんでいるかのような幻想的な風景です。



野迫川村

Nosegawa Village



山と歴史ロマンと星空と
天空の村を知っていますか

野迫川村は奈良県の南西端に位置します。平安末期の武将・平維盛（清盛の孫）の伝承が残り、江戸時代には紀州藩に属していました。明治に入って奈良県吉野郡に編入され、明治22年（1889年）に野川組・迫組・川並組が合併し、「野迫川村」と命名されました。南部は伯母子岳や護摩壇山、北部の山地は高野山に連なり、平均標高は約900mにおよびます。高野山に近いことから弘法大師の逸話も語り継がれています。温泉、雲海、天体観測、熊野参詣道小辺路が魅力の「天空の国」です。